

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

事業名【新】生活困窮者就労準備支援金給付事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 生活支援係 電話番号：058-272-1111(内2647)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 57,270 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	57,270	0	0	0	0	0	0	0	57,270
決定額	57,270	57,270	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

生活困窮者の方々の就労による自立を支援するため、生活困窮者自立相談支援窓口を設置した就労支援員による就労支援、住居を喪失した者または住居を喪失するおそれのある方に対して、求職活動を行えるよう家賃の支援、生活福祉資金特例貸付を受け終わった方々の求職活動を支援するため新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給する等対策を講じてきた。

しかし、求職活動により、就職先が決定した方は、資金がなく、就職時に必要な経費が負担できないといった課題がある。

(2) 事業内容

次のとおり就職時に必要となる経費を就労準備支援金として支給する。

(1) 支給対象者

自立相談支援機関において就労支援を受け、就労に至った者

住居確保給付金受給者で就労に至った者

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金受給者で就労に至った者

(2) 支給額

10万円

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	57,270	事業委託料（給付費、事務費）
合計	57,270	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

高知県、神奈川県が類似事業を実施

(2) 後年度の財政負担

今後については未定

(3) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県

妥当性：
・生活困窮者自立相談支援機関の設置、住居確保給付金及び新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付事業は、実施主体は異なる（市部＝各市、町村部＝県）ものの、県内全域に展開されている制度・事業である。
・これら制度・事業を前提とした本支援金給付事業についても、同様に全県的に統一して実施されるべきものであることから、県が実施主体となることが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

生活に困窮されている方の自立を支援するため就労支援を実施しているが、その結果、就労先が決定した方を支援するため就労準備金を支給する。
それにより、就労意欲を高め、自立を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
①自立支援相談窓口における就労支援対象者のうち就業者数	428	/	/	493	493	-
②	/	/	/	/	/	/

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	/
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	生活に困窮されている方の自立には就労が重要であり、就職する際に必要となる経費を支援することの必要性は高まっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 生活困窮者自立相談支援機関において就労支援が必要な方への支援を行っているが、就職率を高めていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、就労支援対象者は増加傾向にあるため、引き続き、必要な支援を続けていく必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	